

GoPro から写真やビデオを素早く簡単に楽しむことができる人気モバイルアプリ 「Quik」の macOS デスクトップ版が登場

新たに機能と特典を拡大した「Premium+サブスクリプションプラン」も発表



カリフォルニア州サンマテオ、2024年2月6日 – GoPro (NASDAQ : GPRO) は6日、人気モバイルアプリ、[Quik \(クイック\)](#) の macOS デスクトップ版を初公開しました。また、「Premium」サブスクリプション (6,000 円) の機能や特典を拡大した [Premium+](#) (16,000 円) も新たに発表しました。

GoPro サブスクユーザーであれば、Quik デスクトップアプリを追加料金なしで利用できます。Quik モバイルアプリと同期できるため、携帯アプリで編集を開始した後、macOS デスクトップでも仕上げることも可能です。編集ポイントを音楽のリズムと自動的に一致させる Beat Sync 機能など、パワフルで便利な編集ツールを使用してハイレベルな動画を簡単に制作できます。Quik の自動ハイライトビデオ機能では編集経験のないユーザーでもプロ並みの仕上がりで動画を作成することができます。GoPro サブスクユーザーは、撮影後にカメラからクラウドへ自動アップロードする機能、無制限のクラウドストレージ、ハイライトビデオの自動作成とスマートフォンへの送信、直感的に使えるクラウド編集およびメディア管理ツールといった特典を利用できます。

年額 16,000 円の新しい Premium+サブスクリプションでは、上記全特典に加え、上級ユーザー向けの HyperSmooth Pro (ハイパースムーズプロ) ビデオブレ補正ツール、そして GoPro コンテンツ以外に使える 500GB の追加クラウドストレージなどが含まれます。

[Quik](#) の macOS 版は本日から公開されており、Windows 版は年内に公開予定です。

■ GoPro CEO 兼創設者 Nicholas Woodman からのコメント

「新しい Quik デスクトップアプリはモバイルアプリやクラウドと同期します。編集スキルを問わず、究極のコンテンツ制作を可能にしてくれます。経験が浅いクリエイターにとっては、Quik の自動編集機能が便利です。プロレベルのユーザーには、高度な編集ツールや AI・コンピュータービジョンも用意されています。アプリの更なる進化にご期待ください」

■ Premium、Premium+、Quik サブスクリプションプラン

GoPro サブスクユーザーおよび Quik アプリユーザーは、現在 [3種類のサブスクリプション](#) からプランを選択できます。

1. GoPro Premium

従来の GoPro サブスクリプションにつけられた新名称です。新規登録時は 3,000 円で、更新時は年額 6,000 円で利用できます。

- GoPro で撮影したコンテンツを保存できる容量無制限のクラウドストレージ¹
- GoPro コンテンツ以外を保存できる 25GB のストレージ²
- モバイル / デスクトップ版 Quik で編集内容を同期
- カメラの交換保証³
- GoPro.com でアクセサリが最大 50% オフ⁴
- GoPro の次回購入で使える \$100 割引 (メーカー希望小売価格 \$399 以上、年間登録の更新が必要)⁵
- クラウドへのコンテンツ自動アップロード、デバイス間での編集内容の同期
- ハイライトビデオの自動作成とスマートフォンへの送信
- メディア管理ツールの有料機能
- GoPro.com や一部の SNS へのライブストリーミング
- GoPro のプロアスリートやコンテンツクリエイターによる、サブスクユーザー限定のバーチャルセッション
- [GoPro アワード](#)での賞金額が倍増 (写真で \$500、ビデオで \$1,000)

2. GoPro Premium+

上級クリエイター向けの新たなサブスクリプションプランです。既存の GoPro サブスクユーザーは 6,000 円でアップグレードできるほか⁶、新規登録および更新時は年額 16,000 円で利用できます。Premium の全特典に加えて以下が含まれます。

- HyperSmooth Pro ビデオブレ補正
- GoPro コンテンツ以外に使える最大 500GB のクラウドストレージ²

3. Quik サブスクリプション

年額 1,080 円でご利用になれます。GoPro を使わずスマートフォンでビデオを撮影し、Quik モバイルアプリで編集したいユーザー向けのプランです。このプランには以下が含まれます。

- パワフルでシンプルなモバイル編集ツールの有料機能すべて
- 自動編集
- 47 種類の写真 / ビデオ用フィルター
- 15 種類の編集テーマ (Urban、Memory、Travel、Glitch など)
- 300 曲以上のオリジナル音楽トラック
- 150 曲以上の著作権フリープレミアムトラック

Quik アプリの macOS 版、iOS 版、Android 版は無料で[ダウンロード](#)のうえ、試用版として使用できます。Windows 版は年内に公開予定です。

■ GoPro, Inc.について

2022年に創立20周年を迎えたGoProは、臨場感あふれるエキサイティングなコンテンツを撮影し、それをシェアするためのさまざまなツールを提供しています。[Facebook](#)、[Instagram](#)、[LinkedIn](#)、[TikTok](#)、[X](#)、[YouTube](#)、そしてGoProのブログ [The Current](#) でGoProとつながりましょう。

GoPro 公式サイト：<https://gopro.com/ja/jp/>

GoPro、HERO およびそれぞれのロゴは、米国およびその他諸国におけるGoPro, Inc.の商標または登録商標です。

¹容量無制限のクラウドストレージは、GoPro デバイス (Fusion は対象外) で撮影したコンテンツのみを対象としています。対応デバイスについては、[こちら](#)をご覧ください。

²GoPro 以外で撮影したコンテンツは、[こちら](#)に記載されたファイル形式でのみ保存できます。

³カメラの交換は同一モデル (HERO8 以降) で年 2 台が上限です。手数料がかかります。[こちらの国々](#)に限りご利用いただけます。

⁴gopro.com での購入にのみ適用されます。一部対象外のアクセサリがございます ([詳しく見る](#))。1 年間のサブスクリプションにつき最大 10 アイテムが上限になります。

⁵gopro.com でご購入いただいた商品にのみ適用されます。

⁶アップグレードのプロモーション価格は、サブスクリプションを gopro.com で購入した GoPro サブスクユーザーのみを対象としています。

将来予想に関する記述についての注釈

このプレスリリースには、米国の私募証券訴訟改革法第 27 条 A に該当する意味での、見直しなどの将来予想に関する記述が含まれている可能性があります。「期待する」、「信じる」、「見積もる」、「予想する」、「意図する」、「はずである」、「予定する」などの語句とその変化形や、これらの否定形および同様の意味を持つ語句が、将来に関する記述であることを示す意図で使用されています。このプレスリリースでの将来に関する記述には、収益性やサブスクリプションの成長、製品の価格戦略、提供の拡大、当社製品への消費者の全般的な需要に対する当社の期待についての記述が含まれている可能性がありますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述はリスクや不確実性を伴うものであり、実際の出来事や結果は大きく異なる可能性があります。実際の結果が将来予想に関する記述での結果と大きく異なる状況を引き起こしうる重要な要因には以下が挙げられます。当社による将来の収益成長または収益性の達成が不可能であること、および収益成長または収益性が達成された場合には当社がそれを維持できない可能性があること。当社の主要な米国および国際市場における景気低迷または景気の不確実性、インフレ、国際銀行制度の変動性、金利または為替レートの変動が、消費者の裁量的支出や当社製品への需要に悪影響を及ぼす可能性があること。収益を拡大し利益を上げるといふ当社の目標が、当社の消費者直販事業と小売パートナーおよびディストリビューターからの売上を拡大する能力に依存していること。当社がサブスクユーザーを獲得し維持する能力。供給不足、リードタイムの長期化、その他のサービスの中断の影響を受ける可能性があるうえ、イスラエルやウクライナでの紛争や中台関係などの国際紛争や地政学的な問題の影響、インフレ、または為替レートへの悪影響によってコストの増加につながる可能性があること。当社製品のサービスおよびコンポーネントを提供するために、当社がサードパーティサプライヤー（一部のサプライヤーは単一供給元）に依存していること。当社がブランドの価値および評判を維持し、知的財産権および所有権を保護する能力。当社の売上が特にホリデーシーズンに予測を下回るリスク。当社が営業費用を効果的に管理できず、当社の財務実績が、当社の継続的な収益性は実現可能な最大規模の市場へのさらなる浸透に一部依存しているにもかかわらず当社がそれに成功しない可能性があること。悪影響を受けかねないリスク。当社は売上の大半をカメラ、マウント、アクセサリーの販売に依存しており、これらの製品の売上減少や売上構成の変化により事業に悪影響が及ぶ可能性があること。当社が製品の導入、製品の移行、製品の価格設定とマーケティングを適切に管理できないリスク。当社の収益の大部分を少数の小売業者およびディストリビューターが上げており、それらとの取引水準が大幅に減少する可能性があること。当社が有能な人材を惹きつけ、雇用し、維持する能力。貿易協定、貿易政策、関税、輸出入規制の変更。新規参入企業を含む、当社が事業を展開している競争の激しい市場の影響。当社の収益、費用、収益性が将来的に変動する可能性があること。棚卸資産、購入コミットメント、長期性資産に関連するリスク。当社の流通システムに問題が生じるリスク。サイバー攻撃など、セキュリティ侵害やその他の中断の脅威。当社の知的財産権および所有権が当社の製品およびサービスを適切に保護できない可能性があるという懸念。証券取引委員会 (SEC) に提出された 2022 年 12 月 31 日終了年度の年次報告書 (フォーム 10-K) のリスク要因の項に詳述され、SEC への提出書類で更新された、その他の要因。将来予想に関する記述は、このプレスリリースの日付時点、またはこのプレスリリースに別途記載されている日付時点のもので、GoPro は、将来予想に関する記述を更新する義務を一切負いません。